

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 ( 第1回 )
目標年度	令和16(2034)年度
市町村名 (市町村コード)	栃木市 09203
地域名 (地域内農業集落名)	寺尾地区 尻内町、梅沢町、大久保町、鍋山町、星野町、出流町 (出流、星野、門沢、寺尾熊下、根古谷、新宿、大久保、尻内東部、尻内西部、下梅沢、上梅沢)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	296 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	178 ha
② 田の面積	221 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	75 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	49 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	157 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	114 ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。  
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。  
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。  
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。  
 5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。  
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

<p>当地域は、農林統計上の中山間地域に位置付けられ、区域内の農用地等面積の5割弱が土地改良済である。60歳以上の農業者が約8割と高齢化が進み、担い手や規模拡大意向の農家が少なく、地域外からの担い手を検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業機械の更新に課題を抱えている農家が多く、その背景には資材価格の高騰や小作料など経費の負担感と低収入がある(「経費に見合う収入がない」と感じている農家が多い)。</li> <li>・獣害や耕作放棄地から伸びてくる笹・雑草等に悩まされている農家が多い。</li> <li>・耕作地が分散しているため、効率が上がらない。</li> <li>・石・礫の多い土壌、脆弱な水路、高低差があり畦畔が多いなど圃場の条件に不満を抱えている農家が多い。</li> <li>・担い手が不足しており、野菜農家が水田の管理を依頼されている状況。</li> </ul> <p>【地域の基礎的データ(2020農林業センサス)】                  農業者:119人(うち60歳未満23人)、団体経営体(法人・集落営農組織等)2経営体</p>
---

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>地区内の担い手に農地を集積するとともに、地区外からも規模拡大志向農業者や新規就農者の受入れを促進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地を集約・集積し、自動運転やスマート技術により効率化・省力化した農業。</li> <li>・農産物が高く売れ、安定した収入により、兼業農家を含めた農家戸数が維持されている。</li> <li>・営農集団での共同作業。</li> <li>・職業体験や食育、地産地消などの実施により、地域内の繋がりを深める。</li> <li>・農工商で連携し、農業に関わる人間を増やす。</li> <li>・◎耕作するところ、しないところを区分する(すべての農地を維持するのは難しい)。</li> </ul>
---

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構を活用し、担い手やその他の規模拡大志向農業者への農地の集積・集約化を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	18.6	%	将来の目標とする集積率
			80 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標
農地の集積・集約は進んでいない。地域の話し合いにより集約面積の増加を目指す。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・地域座談会等の情報共有や情報交換できる場を定期的に開催し、話し合いによって農地を集約する。 ・農地の保全が難しい地域のため、☆草刈りや獣害対策を地域で行っていく。 ・◎耕作条件の悪い農地や獣害がひどい農地、耕作放棄地など、受け手がいない場合はエリアを区切って地域でできる粗放的な管理を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・地域内で農地バンクの認知度と仕組みに対する理解度を上げ、活用率を向上させていく。 ・相対で貸借しているを地域内で把握し、地権者に農地バンクの利用を働きかける。
(3)基盤整備事業への取組
・畑地や採草牧草地など、傾斜地の活用も含めた畦畔の少ない土地改良事業。 ・スマート農業機械の導入を視野に入れたGPS基地局の設置。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・移住してくる◎新規就農者に、地域として手厚く支援する仕組みを検討する。 ・有機農業に取り組んでいる農家が核となって、減農薬、有機農法のモデルを検討する。 ・地域や農業の魅力を知ってもらい、農業への入り口として、市民農園に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・地域農業の担い手として集落営農を設立し、共同作業に取り組んでいく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①☆獣害対策として狩猟免許取得者を増やし、スマート機械を取り入れながら、地域活動をPRして協力者を増やしていくとともに、補助事業を要望していく。

②減農薬等のモデルを共有するとともに、従来の農法との違いについて勉強会等を開催し、環境保全型農業の周知と理解の深化を図っていく。

⑩新規就農者への農地あっせんや、外国人労働者等の雇用といったマッチングシステムを構築する(栃木市全域)。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状		10年後 (目標年度:令和 年度)				備考
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			別紙のとおり			ha	ha	
					ha	ha		
					ha	ha		
					ha	ha		
					ha	ha		
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
			ha	ha		ha	ha	
計	22経営体		54.7 ha	4.5 ha		91.7 ha	0 ha	

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

- 注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
- 注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
- 注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

	属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
			経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	0009	水稻・麦	10.2 ha	0.1 ha	水稻・麦	13.4 ha	ha	0009	
2	認農	0003	水稻・麦・肉用牛	2.5 ha	0.0 ha	水稻・麦・肉用牛	4.1 ha	ha	0003	
3	認農	0112	水稻	12.8 ha	0.0 ha	水稻	19.2 ha	ha	0112	
4	認農	0113	野菜苗・トマト	1.1 ha	0.0 ha	野菜苗・トマト	1.6 ha	ha	0113	
5	利用者	1050	水稻・麦	0.5 ha	0.0 ha	水稻・麦	ha	ha		
6	利用者	1051	水稻	0.7 ha	0.0 ha	水稻	ha	ha		
7	到達	0111	水稻	8.1 ha	0.0 ha	水稻	5.8 ha	ha	0111	
8	利用者	1052	水稻・麦・大豆	0.4 ha	0.0 ha	水稻・麦・大豆	ha	ha		
9	認就	0114	ニラ	0.5 ha	0.0 ha	ニラ	2.6 ha	ha	0114	
10	利用者	1053	しいたけ	0.0 ha	0.0 ha	しいたけ	ha	ha		
11	認農	1054	イチゴ	1.4 ha	0.0 ha	イチゴ	ha	ha		
12	認農	1055	野菜	1.2 ha	0.0 ha	野菜	ha	ha		
13	認農	1056	肉用牛、飼料用米	4.0 ha	0.9 ha	肉用牛、飼料用米	ha	ha		
14	認農	1300	水稻+にら	1.4 ha	0.0 ha	水稻+にら	ha	ha		
15	認農	0115	水稻、麦、なす、にら	3.8 ha	3.5 ha	水稻、麦、なす、にら	43.7 ha	ha	0115	
16	利用者	1470	水稻、そば	0.4 ha	0.0 ha	水稻、そば	ha	ha		
17	認農	1475	水稻、麦	0.9 ha	0.0 ha	水稻、麦	ha	ha		
18	利用者	1502	水稻	1.4 ha	0.0 ha	水稻	ha	ha		
19	認農	1774	ぶどう、しいたけ、きくらげ	0.4 ha	0.0 ha	ぶどう、しいたけ、きくらげ	ha	ha		
20	利用者	1775	そば	0.8 ha	0.0 ha	そば	ha	ha		
21	利用者	1776	水稻	1.6 ha	0.0 ha	水稻	ha	ha		
22	認農	1841	水稻、じゃがいも	0.6 ha	ha	水稻、じゃがいも	1.2 ha	ha	1841	